

！クマが冬眠(冬ごもり)から目覚め、食べ物を探して森林を動き回ります！

# 春は冬眠明けのクマに

# 注意



クマによる人身被害は、人とクマが互いに近づき、突然出会う、クマが驚いて攻撃することで発生するケースが多いです。

## ！ 山菜採りは周囲の確認をしながら

春、クマは草や木の芽を好んで食べるため、人とクマが山菜採りで出会う可能性が高くなります。山菜採りに熱中するあまり周辺への注意力が散漫にならないよう注意が必要です。

また、クマ鈴等、音が出るものを携帯することがクマと出会うリスクを下げますが、過信せず複数人で行動するなど周囲に十分気を付けましょう。特に溪流沿いは水の音で、クマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがあるので注意が必要です。



## ！ 親子クマに注意を

子グマの近くには母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。



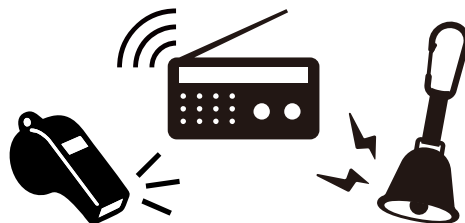
クマと遭遇しないよう下記のことにご注意してください

## 朝夕の行動は避ける



朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。

## 笛、ラジオ、鈴の携帯を



クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは自ら避ける傾向があります。笛、ラジオ、クマ鈴など音の出る物を携帯しましょう。

## クマのいる場所に近づかない



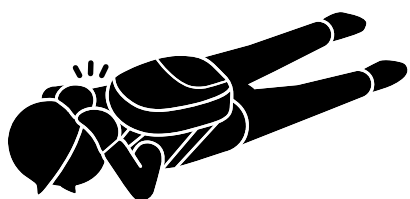
長野県内の森林はクマの生息地であり、どこでクマを見かけてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つければ、それ以上近づかずに引き返しましょう。

## ゴミは持ち帰る



ゴミは必ず持ち帰り、人の食べ物の味を覚えさせないようにしましょう。また、生ごみは屋外に長時間出しっぱなしにしない、においの強いものは密閉するなどクマを引き寄せないようにきちんと始末しましょう。

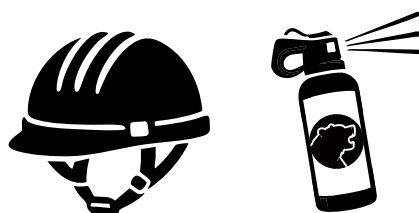
## クマが襲ってきたら



うつ伏せで首の後ろに手を組み、防御姿勢をとりましょう（首・顔・腹を守る）。リュックサックは背中を守ることができるため、背負ったままにしましょう。

※この防御姿勢は、致命傷を避け、重傷化を防ぐための最終手段です。クマが立ち去るまで動かずに待ちましょう。

## 森林での不意の遭遇に備えて



注意をしてもクマと出会ってしまった場合、ヘルメットを着用していると頭部の被害を軽減できます。

※クマ撃退スプレーはクマが近い距離まで接近した緊急時に使用するための装備です。日本クマネットワークのHP (<https://www.japanbear.org>)などで、正しい使い方を確認してください。

クマを目撃した場合は、  
最寄りの市町村役場または警察へご連絡ください。

県のホームページのほか、クマ目撃情報マップ「けものおと2」を活用してください。



ツキノワグマ対策  
について(長野県HP)



クマ目撃情報マップ  
「けものおと2」